

市民フロンティア



URL <http://www.cskobe.com/> E-MAIL info@cskobe.com 発行人：中村順子 編集人：岡本雅士

2013年新春巻頭言



「新年雑感」

中村 順子 (CS神戸 理事長)

歳の節目に思うことを、つれづれなるままに記してみました。

・いきなり民主主義

新年早々の新聞紙上には、多くの識者が「民主主義」という言葉を使い、政治への関心具合を分析していました。昨年末の衆議院総選挙の動向を受けた論ではありますが、暮らしにくさを抱えた人が多い世の中にかかわらず投票率は低く、選挙という代議制民主主義すらうまく機能していないことを嘆かわしく思う内容が大勢で、私もまったく同感いたしました。

一方、NPO活動を民主主義で紐解くとどうでしょうか。NPO活動は、不特定多数の市民の課題解決を引き受け暮らし良い社会へと、民意を直接活動で表すものです。全国で47000のNPO法人があり少なく見積もっても150万人、神戸市では660法人、推定2万人が活動に参加しています。NPO活動を民主主義のもう一つの方法と論じる識者はいませんでしたが、ここに新たな民主主義の手法があるのではないのでしょうか。

なぜなら、NPOはそれぞれ組織内部の共通した価値観は持っていますが、あい対峙するNPOも少なくありません。例えば、虫の保全団体と自然を活用するキャンプ団体の利害等々。とはいえ最終的には、対立を超え社会の共通利益という方向性を見出していくのです。面倒でヤッカイではありますが、このプロセスは、国と個人の遠い距離を埋める民主主義の直接手法として「新しい公共」をなす生活者からのアプローチであると実感します。

NPO活動を通じて実践的な民主主義を学習し、政治への白け観を解消することで、直接・間接両輪の民主主義を機能させ、居場所と役割がある地域社会にしたいものです。



・あらためて「つながり」

同じ建物内に暮らしながら人が死んでいても察知できない尼崎の事件、近所で子供の姿を見かけるが挨拶はしたことがない、体調が悪いが買物を頼む人がいない・・・このような問題が身近に起こる世の中になってしまいました。問題が深刻化する前に何とか力になれなかったのか、あの時ちょっと声をかければ、情報が届いていれば、そのもどかしさの答えをCS神戸は常設居場所に求め、一昨年から東灘2箇所、灘1箇所で応援しています。見知らぬ人がその場で知り合い、困難を打ち明ければ応じる人が現れ、様々な情報が行き交う場となってきました。夏休みの自由研究に窮したお母さんと子供が駆け込むと得意なおじさんが教えてくれる、居住区の近隣とうまくいかなない人がそこでは接客担当に、一人暮らしでお節料理がつくりにくい人達が数品持ち寄って豪華なお重を楽しむ等、年齢や属性を超え一人から一人へと新しい関係はつながっていきます。

つながりは、社会の毛細血管とでもいえますでしょうか、1つ2つ切れても直ちに命に支障はきたしません、巡り巡ると命、すなわち社会基盤そのものを危うくします。いつ来てもいい、いつ帰ってもいい常設居場所が地域に張り巡らされる必要を改めて感じています。

・昨春の3つの計画、その後

最後になりますが、昨年皆さんにお伝えした、2012年の三つの計画のその後をご報告します。

一つ目の、東北/岩手県大槌町支援は、さわやか福祉財団と共に定期訪問し、現地に被災者が主体となった「新生おおつち」が立ちあがりました。さらに現地で活動する地元団体がネットワークして町役場とキャッチボールしながら復興活動に取り組めるようになりました。これらの前進は1月27日(日)午前10:05~10:53NHK総合TV「復興レポート」で放映されました。(CS神戸に録画があります)

二つ目の、認定NPO法人の取得は、必要書類の提出を終えて現在神戸市の審査中、いずれご報告が出来ることになるでしょう。基準となる年間3000円以上のご寄付や応援をいただいた大勢の方々に厚くお礼申し上げます。

三つ目の、個人的ながら、四国八十八カ所お遍路逆打ち巡礼は、1年がかりで満願成就！ 祈りは、感謝に加え自分自身への誓いです。また四国の地に根差したお接待文化と、点在する寺仏閣を教えで結ぶ先達さんと旅行社による移送ネットワークが、コミュニティビジネスを形成している様子は、地域資源活用の好事例として勉強になりました。何事も成就できれば、次の目標へと意欲がみなぎってきます。さて今年の目標は？ ただいま絞り込み中、お楽しみに

今年もどうぞよろしく願い致します。

2012年度 第3回理事会を開催



11月7日(水) 午後4時～6時、CS神戸にて今年度の第3回理事会が開催されました。今期から新しく理事に就任された佐藤友美子氏の他、足立勝氏、中村厚子氏、坂本登氏、中村順子氏の各理事が出席されて、上半期の活動報告と決算の説明がなされました。今年度は20事業を実施しており(内6事業が新規) 経常収入(上半期)は3700万円、となったことが報告され、承認されました。なお今期からNPO法の改正にともなって、CS神戸の決算書は、収支計算書から活動計算書に移行されました。(岡本)

理事就任のご挨拶

佐藤友美子さん(サントリー文化財団 上席研究フェロー)

昨年より理事として参加させていただくことになりました佐藤友美子です。私はサントリーの不易流行研究所で生活文化の研究に長年携わり、定年後の今はサントリー文化財団で、成熟社会における働き方、地域コミュニティのあり方などをテーマに調査研究を行っています。研究といっても、学者ではありませんので、現場に行って地域で頑張っている人の話をお聞きし、分析し、社会に発信する、というようなことを仕事にしています。2011年には、自立した個人や組織が、出来ることを持ち寄り、地域を支える事例を集め「つながりのコミュニティ、人と地域が『生きる』かたち」(岩波書店)を出版しました。最近、高校生の部活に注目し、クラブ活動が若者の可能性を拓き、地域にも大きなインパクトを与える事例の研究なども行っています。

CS神戸は実践の場、研究が主な仕事だった私の経験がお役に立つか、未知数ではありますが、まずは皆様のお話をお聞きし、勉強させていただきます。混迷する政治にも、財政難の行政にも期待できない今、市民が主体的に展開するコミュニティ活動はこれまでも増して重要で、創造的な活動を生み出す可能性に満ちています。皆様と一緒にCS神戸で地域社会の課題解決の糸口を探り、心豊かな社会の実現に努力したいと思えます。



シニア交流サロン(ワラビー事業)

「何かを始めたいシニア集まれ！」

「自由時間を生かして何かやりたいけど、どうすればいいのだろう?」「一緒に新たな活動をやってくれる仲間がほしい」「退職後の新たな生きがいを見つけたい」という声が多く聞かれます。そこで、11月17日(土)、CS神戸事務所にて標記のサロンを開催しました。

コーディネーターは、中高年の起業や生きがいづくりを支援するPAP-JAPAN(大阪)代表の川井眞理さん。長年ライターとしてシニアウォッチングや取材を続け、現在はキャリアコンサルタントとして活躍中。「自分がやっていること、やりたいことをフランクに話し合い、お互いの知恵と経験を交換し合おう。その中から気づきを得、協力しあえる人を1人は見つけよう」。川井さんの呼びかけもあり、率直な発言や貴重な出会いを活かそうという気運が盛り上がりました。自己を語るところからスタートし、やりたいことを話し合ううちに、話題は仲間づくりの難しさと大切さに集約されました。「男性は仕事一筋で来て、地域には入りづらい」、「趣味や一緒に取り組める何かがあればいい」、「同じ方向を向く人を見つけ協力しあいたい」などの話が飛び交います。そのための方策は、「自分から話しかける」、「何かを1人でも始める勇気が必要」、「年齢や経験にこだわらず、過去をリセットして新しいスタートをする」などでした。

最終は、参加者個々がこれからどうするかを話し合いました。「今日のことを忘れない」、「出会いを大切に」、「前に向かって進む」、「自分の時間割を作る」など、気づきを得た中からの言葉が印象的でした。川井さんからは、「首は横に振るより、縦に振る方が簡単」という、前に一歩進む行動のヒントになる言葉の紹介と、「アンテナをしっかりと立てて情報収集&自分の興味あることもちゃんと発信する」生き方が、仲間づくりとやりたいことを見つける上で大切というアドバイスがありました。

後日談として、参加者の中から自主的に声があがり、「桜会」という名のチームが結成されたようです。早速サロンで学んだ「出会いを大切に、前進する」ことを実践された皆さんの今後のご活躍が楽しみです。(狩野)



サロンの風景

ハンズオン インターンシップ事業

販売実習の売行き好調、外部研修もスタート！

6月号で紹介しました「ハンズオン・インターンシップ」が開始して半年が経過しました。コミュニケーションスキルをはじめとする就労に必要なスキルの向上を目指す体験型の長期研修事業で、現在4名のインターン（研修生）が参加しています。そして、彼らを見守りながらも必要に応じて客観的にアドバイスしてくれるメンター2名の協力の下、週2日の研修を積み重ねることで、自分自身の課題にじっくり向き合い、少しずつ自信をつけ、何かをつかんでいます。

研修の柱は、チームでの販売業務。障がい者作業所で作られる品物の委託販売ですが、業務は販売だけではなく、納入品のチェック、値札・POP（商品の説明書き）づくり、売上計算、在庫管理、発注業務まで裏方の仕事もすべて彼ら自身が行います。このようなチームワークが要求される業務は全員初めてで、毎回何らかの問題が起きます。また、ミスも程度の差はあれ毎回あります。ハンズオンでは、一つ一つに丁寧に対応し、なぜそれが起きたのか、それを防ぐためにはどのような行動や対策が可能なのかを考えます。そして、全員が納得するまで話し合うことで問題解決の力を磨いています。

販売実習での売れ行きは好調で、外でのワゴン販売を始めると、道行く人が足を止め買い求めていくようになりました。作業所の方々からお客様からも喜んでいただける喜びは、想像以上にインターンのやる気を引き起こし、12月末での月平均売上高はハンズオン開始前と比較し4倍アップしています（12月実績：53,600円）。しっかりとお客様の声聞きニーズを作業所に届ける、また、お客様に障がい者の方々の手作り製品の良さをアピールするために懸命です。売り手として、作り手・買い手の双方に役立ち感謝されることで、働くことの意味や手ごたえをつかんでいます。

更に、応用力を育むため、週2回の外部研修もスタートしました。インターンの研修を快く受け入れていただいた施設やお店の方々のご協力なくしては、外部研修は成り立ちません。

こうして、一人では不可能なことも様々な人との関わりによって可能になります。皆様のご支援とご協力によってハンズオン・インターンシップ船はゆっくりと可能性の大海原を進んでいます。（瀬光）



陳列している、障がい者作業所の製品

～ 昨年に引き続き、2回目の開催～

田村太郎さんをお招きして、コミュニティビジネス実践講座を実施しました！

昨年に引き続き、11月30日（金）より20名の参加を得て、コミュニティビジネス（CB）実践講座が始まりました。昨年と同様、（公財）神戸いきいき勤労財団との協働実施で、田村太郎さん（一般財団法人ダイバーシティ研究所代表）を連続講師としてお招きしました。全5日間で、最終日にはそれぞれのプラン発表を行いました。

「CBとは何か？」「成功するCBのコツは？」といった基礎編から始まり、全国各地のCBの事例や、事業計画の立て方等をご教授いただきました。「対象とする課題、目標とする状態をできるだけ具体的に落とし込んでください」、「想いがあるからこそ、数字で勝負してください。計画している事業が社会にとって必要だという根拠をデータで示してください。」「事業計画書は誰かに協力を求めるためのラブレターです。」といった印象深いお話もありました。最終日には、受講者それぞれが立案した事業計画書のプレゼンテーションを行い、田村さんや受講生からの意見を元に、ブラッシュアップのポイントを共有しました。また4日目には、『各種法人の違い』、『法人設立のポイント』といった実務講座も行い、CBの起業にはどのような法人格が適しているのか、それぞれのメリット・デメリットについても学習しました。

受講生からは、「目からウロコの連続でした」、「田村さんや受講生からたくさんアドバイスをもらえてうれしかった」、「長年あたたかっていた構想がようやく形にできそうです」、「たくさんの情報やノウハウを得たので、あとはやるだけ！」といった感想が寄せられています。年明け早々に、次年度に向けた関係者会議を行いますので、今年度いただいたご意見をもとに、更にバージョンアップした講座をお届けできればと思っています。（飛田）



笑いの絶えない講座をしてくださった田村さん



グループワークの様子



合同講座の様子

～ 2012年度 第1回 選考委員会 ～

市民活動サポート基金 2団体に助成金の交付を決定しました

去る11月1日(木) 2012年度第1回目の選考委員会を開催しました。4団体の助成金報告を受けた後、今年度の交付先2団体が決定しました。交付団体、報告団体をそれぞれご紹介します。(飛田)

NPO法人 ホザナ・ハウス / 芦屋市

事業名: 更正保護法に基づく自立準備支援事業
 代表者: 理事長 森 康彦
 金額: 300,000円 (2012/4/1～2013/3/31)

<申請内容>

刑務所や少年院からの出所・退院者を引き受け、寝食をともしながら、社会参加へのサポートを行っている。兵庫県第1号となる「自立準備ホーム」としても登録された。出所者の中には帰住地のない人もおり、社会的・経済的孤立が再犯につながってしまう。幾人かだけでも、ホームに受け入れ、ケアをしていきたい。将来的には就労訓練の場として農業運営も行っていきたいと考えている。助成金は、自立ホームの家賃に充当したい。



やかまし村 / 灘区

事業名: ほのぼの朝喫茶事業
 代表者: 高橋 正伸
 金額: 100,000円 (2012/4/1～2013/3/31)

<申請内容>

2004年3月、被災者支援プログラムの一環で開催されたCB研修の修了生を中心に6名でスタート。介護ケアウイング六甲のグループホーム1階部分を隔週木曜日に借り、朝喫茶をオープンしている。グループホームの入居者、近隣の住人などが利用し、地域コミュニティの場として定着。1回平均35人、年間延べ800人程度が利用し、交流が進んでいる。助成金はボランティア謝金の一部と、コーヒーマーカー等の備品購入費に充てたい。



報告団体 (2012年9月末までに、対象事業が終了した団体)

NPO法人認知症予防ネット神戸 / 東灘区

事業名: 認知症予防と物忘れ相談検診事業
 代表者: 理事長 伊藤米美
 金額: 170,000円 (2011/10/1～2012/3/31)

<事業の成果>

助成金で認知症の検診で使用する「タッチパネルPC」を購入した。出前検診や予防活動等で利用している。身近な所で相談でき、フォローできる体制が整いつつある。

西宮子育てサポートひびぽ / 西宮市

事業名: 子育て親育ち応援事業
 代表者: 米山清美
 金額: 200,000円 (2011/4/1～2012/3/31)

<事業の成果>

西宮で幼児の一時預かり保育を実施している。屋外保育や多世代交流のプログラムも行っており、今回の助成金は主に保育ルームの内装工事費に充当した。

こうべ子どもにここ会 / 東灘区

事業名: 地域に根付いた日本語・教科教室の運営事業
 代表者: 長嶋 昭親
 金額: 300,000円 (2011/4/1～2012/3/31)

<事業の成果>

年間延べ1000人弱の外国人児童が利用する日本語教室の運営に加え、近隣小学校の教員を対象にした校内研修を実施。児童が所属する学校との連携が進んだ。

全国NPO会計担当ネットワーク / 宝塚市

事業名: NPO法人の財務分析手法と財務指標の開発と実務への応用
 代表者: 荻野 俊子
 金額: 300,000円 (2011/8/1～2012/7/31)

<事業の成果>

NPO会計基準導入前3年間の財務状況を分析し、NPOの会計担当者を対象としたテキストが完成した。会計担当者および法人そのものの組織力強化が期待できる。

プロボノ活動のスキーム構築と啓発事業

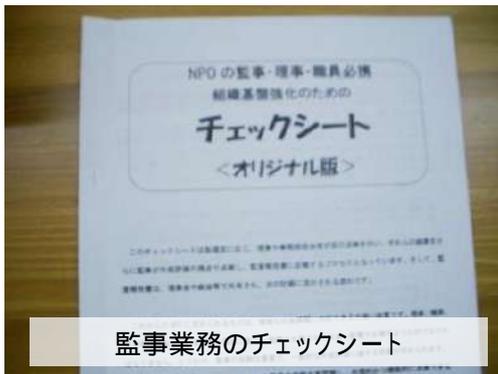
福祉プロボノ & 監事プロボノの活動

プロボノとは、「仕事で培った経験を活かして行う、社会貢献ボランティア」のことです。CS神戸では、「兵庫県地域づくり活動基盤整備事業」の中で、この活動を2年間にわたって進めています。昨年は5日間の養成講座を開催しましたが（参加者約50名）、今期はその実践として2つのパイロット・プロジェクトを実験的に運営しています。

一つめは「福祉プロボノ」と名づけており、NPO法人わだちが運営する障がい児デイサービスの業務マニュアル作りを行っています。シフト勤務でスタッフが入れ替わっても提供サービスの品質を維持・向上するためのマニュアルを、4名のメンバーで作成しています。わだちの理事長である光武さんの他、高齢者介護の専門管理職、障がい者訪問介護担当者、企業でのマニュアル作成経験者がチームで取り組んでいます。内容は「管理職員の業務分担」「事故発生時及び緊急対応」「送迎



マニュアル作りの検討会風景



監事業務のチェックシート

「児童の状況別対応の仕方」「書式（事業予定表兼日誌、連絡帳兼実施記録表）」の5章構成です。

二つめは「監事プロボノ」です。企業でのマネジメント経験者を対象に、NPOの役員である監事を養成するプログラムと、監事業務を行うための基本チェックシートを作成しています。こちらはNPOの現職の理事長・監事、NPO会計専門家、金融企業管理職、退職後ボランティア活動をしている元企業管理職など8名がチームを組んで検討をしています。

3月9日（土）には、50名を対象にしたフォーラムを開催する予定で、今回の取り組み内容と成果物、参加したプロボノワーカーの感想、今後の実施スキームのご報告をしたいと考えています。ぜひご参加下さい。（岡本）

兵庫県立大学との全県キャンパス事業

豊岡で大学連携や地域活性化をテーマにしたワークショップを行いました！



今年度で3年目の実施となる「全県キャンパス事業」。兵庫県立大学との協働事業で、県内各地にある県立大学のキャンパスや研究所で地域連携を進めることを目的にしています。現在、姫路と学園都市でプロジェクトが始まっていますが、まもなく大学院が開設される豊岡にて、12月1日（土）約20名が参加してワークショップを行いました。県立大の教員・職員はもちろんのこと、豊岡市民プラザを委託管理しているNPO法人コミュニティアートセンター・プラッツやコウノトリの郷公園、豊岡エリアの様々なサポートに入っている宝塚NPOセンターからもご参加いただきました。大学院開設を前に、大学と地域とのどのような連携が考えられるのか、何が課題なのかを話し合いました。「地域貢献ができ、学生ができる活動で、一定期間内に実施でき、成果がわかりやすいもの、といった条件を、大学と地域が共にクリアできれば、様々な可能性が広がるのでは」、「豊岡を含む但馬地方の課題は10年後の神戸・阪神間の課題でもある。大学と地域社会がWin-Winの関係になり、活性化につながれば」といった意見が出ました。

最後は当事業の総括の野津教授による「宿泊型の学生研修プログラムが豊岡にはふさわしいのではないかな。そのためにもどうしても地元の拠点が必要。ぜひ大学の中に地域連携の窓口を設け、プラッツさんとともに進めてほしい」というメッセージで終了となりました。

当事業は来年度も継続予定ですが、3年間の成果、今後の課題についてまとめた報告書を現在作成中です。3月末に発行予定ですので、ご期待ください！（飛田）



次々とアイデアが…



カテゴリ別にまとめて発表準備



アイデア発表

J R 住吉駅前自転車駐車場 (神戸市指定管理事業)

障がい者の有償ボランティアが活躍

CS神戸の駐輪場には二つの大きな使命があります。株式会社の運営する他の駐輪場と同じく、安全・快適・丁寧・便利であること。そしてその活動の上に、NPOとして株式会社にはない独自の付加価値を付けていくことです。今回はその後者の取り組みの中から、障がい者ボランティアの方々の活動をご紹介します。

駐輪場では、めいわく駐輪撲滅のための「指導業務」として、場外を巡回し放置車両にマナー札・警告札をつける仕事をしています。その業務に月・水・金の週3回、障がい者の方が有償ボランティアで参加しています。スタッフと一緒に札をつけたり、付近のゴミ拾いをしたり、暑さ・寒さや雨風にも負けず頑張ってくださいています。

上記の活動とともに今年は新たに、住吉神社裏の道路の落ち葉清掃にも有償ボランティアのご協力いただきました。秋になると道路に枯れ葉が多く落ちて、雨風の強い翌朝などは一面が木の葉だらけとなります。スタッフが毎日清掃を行っているのですが、障



スタッフと一緒にマナー札をつけています



施設の指導員と一緒に落ち葉を清掃しています

がい者方々にもお願いすることにしました。ボランティアの派遣についてはこれまで、NPO法人にじのかけ橋・神戸市立もとやま園・アゴラさんをお願いしていましたが、今回新にNPO法人f(エフ)さんにもご協力いただきました。fさんは重度の方が多く人数も少ないため、指導員と利用者全員で清掃活動に参加され、遠足気分(?)のにぎやかな雰囲気清掃をされていました。

4~12月で駐輪場にいられた障がい者ボランティアさんは延210名で、昨年の同時期と比べると73名増えています。今後も機会を見つけて、一人でも多くの方に来ていただきたいと思っています。(岡本)

東灘区民センター小ホール (神戸市指定管理事業)

ますます盛況！ ひがしなだ区民カレッジ



トールペイントの作品

お互いが講師と生徒となって、市民の方の持つ豊かな文化を多く方で分かち合い、そして楽しみ合うワンコイン講座です(参加料:500円)。今年度は16の講座で11月からスタートしました。講師の方々は自分の持っている知識、アイデアや技術を自分自身で楽しんでアピールしているようです。

特にクリスマス前とあって、「トールペイント・ポインセチアの壁飾り」(11月25日開催)を作る講座と、皆と一緒に

朗読を楽しむ、「声を出して読む茨木のり子の世界」(12月13日開催)に人気が集まりました。

下記の講座はこれからです。皆さまのお申し込みをお待ちしています。次回はあなたが講師になってみませんか.....!!(兵頭)



「声を出して読む茨木のり子の世界~詩と朗読の魅力」の講座風景



<今後の講座> 連絡先: 078-453-0151

講師	2013年これからの講座予定	日程
田中豊茂	武家の家紋に探る我が家のルーツ	2/3、17(日)
濱本美佐子	コミュニケーション「楽」ラケミナ~あなたが笑えばみんながHAPPY!~	2/4(月)
高倉知子	山の幸染め体験	2/9(土)
池上泰好	赤ちゃんの名前のつけ方	2/11(月・祝)
井上葉子	パーソナルカラーで印象アップ	2/15(金)
乾嘉重	「頭」を使って楽々ダイエット	2/27(水)

第三者評価・外部評価事業（介護）

介護サービス向上のために、評価員のパワー全開！

CS神戸では、数年前から介護施設の調査事業を手がけています。現在は地域密着型サービス事業所（グループホームならびに小規模多機能型居宅介護を運営している施設）の外部評価事業を実施しています。では、外部評価を受審することは、介護サービスの質の向上にどう結びつくのでしょうか？

事業所が行う自己評価は55項目あり、その中で25項目が外部評価の対象となります。評価機関は訪問日に自己評価の内容を確かめるための聞き取りを行い事業所が目標を設定するのを支援します。その際これまで経験をもとに、私たちから自己評価のための共通の課題を紹介します。例えば……、

「理念の共有と実践」

理念とは、職員が拠り所にする大切なことや、常に立ち戻る原点を簡潔明瞭に言語化したものです。その下に運営目標、行動指針ができます。しかし事業所の多くはその理解度が低く、職員に十分な共有化がなされていません。

「食事を楽しむことができる支援」

高齢者にとっての最高の楽しみは食事です。食べるだけではなく、食材仕入れの外出、商店街と馴染みになる、献立に沿って料理する等、食事作りは人間の五感を刺激します。事業所での食事作りが一日の大部分を費やすことになっても、よいのではないのでしょうか。

「事業所と地域との付き合い」

日常的な地域住民とのつながりは、夏祭りや季節のイベントへの参加ばかりではなく、災害対策の避難訓練を接点として大きな意味を持ちます。また地域で孤立化している事業所が少なくありませんが、認知症の啓蒙活動などは事業所を地域に理解してもらうチャンスです。しかし現実には、地域との連携は簡単ではありません。あらゆる機会をつくり、点を面にする努力が必要です。

上記は目標を設定するための材料の一例ですが、事業所の優れた特色を磨くことを目標にするのもよいと思います。これらの55項目とは別に、13の総括評価項目があります。これは家族アンケートにも使われている内容に近いもので、職員と家族の両面から眺めることとなります。両者にギャップがあれば、それらを検討して要因を分析することも大切です。また別に、面談や聞き取りの中で公式の評価に表れない本音を記したり、目標設定をどのように行うかを話し合い、管理者の日頃の悩みも聞いて、「CS神戸の評価報告書」をまとめます。ここに私たち評価員の「心」があると思っています。このような取り組みは、これまでどこの評価機関も行っていなかったことであり、私たちの小さなイノベーションです。

訪問した事業所の管理者の方から、「熱心さや情熱、社会環境を少しでも良くしようとするCS神戸の方針がよく伝わってきました」と、身に余るお言葉をいただきました。評価員のやる気とパワーはただいま全開です。（小林）



使用した調査票。こと細かに確認します

年末恒例！ CS神戸“冬の感謝祭”を開催しました



12月19日（水）恒例行事になりつつある冬の交流会をCS神戸事務所にて開催しました。当日は50名近い方々にお越しいただき、賑やかなパーティーとなりました。中村理事長のオープニング挨拶に引き続き、『CS神戸今年の重大ニュース！』。三菱重工神戸造船所さんにご協力いただいているハンズオン・インターンシップ事業（小規模作業所の製品販売を通じた就労支援事業）の開始や、住吉駅前駐輪場の指定管理の再選定などを発表しました。また、中盤のかくし芸コーナーでは、テーブルマジックやタップダンスで盛り上がりました。また来年も開催予定ですので、お楽しみに！（飛田）



パーティーの風景



駐輪場スタッフの皆さん



大サービスで種明かし

ひかしなだ区民カレッジ パーソナルカラーで印象アップ!

～あなたの魅力を最大限に引き出す、
パーソナルカラーを見つけます～

日時：2月15日(金) 10:00～11:30

場所：東灘区民センター小ホール(魚崎)

参加費：500円

内容：

- ・第一印象における色の役割
- ・ドレーピングデモンストレーション
- ・グループによるパーソナルカラー診断テスト

講師：井上葉子

電話：078-453-0151(兵頭)



こんなにもたくさん
の色があります。さて、あなた
に最適な色はど
れかな？
カラーでなくて
ごめんなさい。

プロボノ・フォーラム(新しい社会貢献ボランティア) 福祉プロボノ&監事プロボノ

プロボノとは、仕事で培った経験を活かして行うボランティアのことです。昨年度の養成講座に続き、今年度はパイロット事業として「福祉プロボノ」と「監事プロボノ」を神戸で最初に取り組みました。その活動内容と今後の計画をお伝えし、プロボノ活動のパイオニアであるNPO法人サービスグラントの岡本氏を迎えて、これからの可能性を探っていきます。

日時：3月9日(土)

13時30分～15時45分

場所：神戸クリスタルタワー6階 セミナー室

JR神戸・各線高速神戸駅下車 数分

参加費：無料

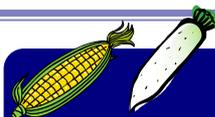
定員：50名

「福祉プロボノ」

障がい児デイサービスのマニュアルを、福祉とマニュアル作りの経験者で作成

「監事プロボノ」

NPOの監事(役員)が使用するチェックシートと、その養成のためのカリキュラムを、NPO活動や監査業務の経験者で作成



たんばのお野菜

火曜・金曜の定期販売で大賑わいです!

昨年度で終了した「ふるさとコミュニティビジネス(CB)創出支援事業」。CS神戸は丹波・篠山地域を中心に、CBを通じた地域活性化のサポート業務に携わってきました。今年度からは当事業を担当していたインストラクターや研修生が中心となって新たに「つなごう丹波」を発足させ、その中の活動としてCS神戸の事務所前にて野菜販売を行っています。ぜひ一度お立ち寄りください!

丹波に移住した若者が生産した有機野菜です。ぜひ買い求めください!
(国枝哲男)



火曜日担当

旅館での板前経験を活かして、野菜の美味しい調理方法もお教えいたします!
(藤久保幸輝)



金曜日担当

丹波のお野菜をお安く販売しています。仕入れ野菜に加え、我が家でつくった野菜もあります。自家製の漬物もおススメ!
(臼井隆夫)

【販売日】火曜日：10時前～15時頃まで
金曜日：11時前～14時頃まで

【場所】いずれの曜日でもCS神戸事務所前にて

交通事情等により時間が前後したり、売り切れの場合には、早めに終了することがあります。

会費・寄付・寄贈をいただき、 誠にありがとうございました

(期間 12年 10/1～12年 12/31、いずれも順不同・敬称略)

【会費】荒巻順一、岡本仁宏 安元邦夫 金芳外城雄 阿波美織、伊藤恭子、大島勝子、広井かほり、伊藤靖子、松元隆平、石井真由美、飛田敦子、中島朋子、東灘こどもカエ、やかまし村、NPO法人ひがしなだコミュニティ、

【寄付】中村順子、狩野仁未、村上義弘、岡本仁宏、菅祥明、星野裕志、當間克雄、増金祐次、尾山宗久

東日本大震災への募金・寄付について

震災関連の募金につきましては、原則として募金箱に入金いただく形式にさせていただいており、お名前の掲載はしておりません。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

2012 年度の会員継続をお願いいたします!

市民活動を共に支えて下さる賛助会員(個人・団体)の方々を募集しております。

【会費】個人会員3,000円/年、団体会員10,000円/年

【振込先】名義 NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸

郵便振替 00950-2-144205

編集後記

私もCS神戸で2年余りが経ちました。ミッションを追求する熱き情熱と、事業運営におけるクールなロジカルシンキングのバランス感覚をもっと身につけていきたいと思っています。(O)